

第3回 大阪・関西万博きょうと基本構想検討会 議事要旨

1. 日時・場所

日時：令和5年3月14日（火） 午後3時30分～午後4時30分

場所：からすま京都ホテル 2階 双舞の間

2. 出席者

【委員】（20名）

山極委員（座長）、安藤委員、池坊委員（代理出席）、尾池委員、岡田委員（代理出席）、岡村委員、奥井委員、河合委員、城崎委員、日下委員、後藤委員、齋藤成雄委員、齋藤茂委員、千委員、田中委員、西谷委員、平尾委員、村上委員、山地委員、山下委員（代理出席）

【オブザーバー】（1名）

小橋オブザーバー

3. 議事概要

冒頭、座長あいさつの後、事務局から、これまでの議論や意見を踏まえた、京都における基本構想（案）について説明し、概ね了承。来年度の大阪・関西万博きょうと推進委員会（仮称）にて基本構想を決定・公表することについても了承された。その他、令和5年度以降の体制・進め方について事務局から説明を行い、各委員から意見をいただいた。

〈座長あいさつ〉

- ・ 大阪・関西万博に向け、文化、産業、アカデミアの力をうまく調和させ進めていきたい。
- ・ 本日が最後の検討会となる。基本構想（案）を固めるとともに、来年度以降の体制・進め方について議論したい。
- ・ 来年度からいよいよ推進のフェーズに移っていく。万博を契機に多様なステークホルダーと連携し、京都の総力を結集して未来を共に作り上げていきたい。

〈主な意見〉

- ・ 「京都の未来」にとどまらず、むしろ京都がこれまで培ってきた知恵を活用して「世界の未来」を創っていく、という意気込みをテーマに込めると良いのでは。
- ・ 未来の京都を担う若手世代の力を活用していくことは重要。若手の実行力や先端に行くような発想に期待したい。ただし、業界によって若手の定義が異なるため、年齢のみで若手か否かの判断をすることのないよう留意されたい。
- ・ ドバイ万博ではバーチャル EXPO の評判が非常に高く、QR コードの活用も各所で行われていたので、参考にすべき。
- ・ 民間の団体や企業などが検討している取組の情報を一元的に集約し、会期前から情報発信していくことが重要。

以上